発達障害者支援・特別支援教育セミナー

「地域みんなで育ちあおう」開催

町内外から約250人が参加。子どもとかかわる日々の活動に生かそうと、講演の実践例や、内子町の支援体制について、熱心に聞き入っていました

内子町教育委員会は1月9日、愛媛県発達障害者支援センターなどとの共催で、発達障害者支援・特別支援教育セミナー「地域みんなで育ちあおう」を開きました。

第1部では岡山大学大学院の佐藤暁教授が「子どもも教師も元気が出る授業づくり」と題して講演。佐藤先生は、「保育の流れをつくる」「教室に居場所をつくる」「子どもの言葉をつなぐ」など、具体的な実践事例を交え、園や学校で、すぐに生かすことができる支援方法などを提案しました。

第2部のトークセッションでは、愛媛大学の長尾秀夫教授の司会進行で、内子町の障害者福祉に関係する担当者たちが、ある子どもの成長事例をもとに、支援やサービスなどについて説明。地域でできることを見つめ直すとともにその情報を共有し、より一層連携を強めようと意見を交わしました。

会場の共生館には、町内外から教職員、福祉施設関係者、保護者など約250人が集まり、熱心に聞き入っていました。

熱くやさしく語りかける講師の佐藤先生

トークセッションで佐藤先生は「親は子どもが生まれたとき、漠然とですが将来設計の『シナリオ』を描いています。学校へ行って、大学かな、就職かな、結婚はいつくらいで…と。しかし、子どもに『障害』がある、と言われたとき、その『シナリオ』を失ってしまいます。それは、子どものだけでなく、親自身の『シナリオ』までも。そして、その親はつらくても、何度も何度も『シナリオ』を書き直していきます。今回のトークセッションは、『シナリオを書き直すお手伝いをしよう』ということなんだと思います」と助言しました。

同セミナーのアンケートには障害のある子どもの保護者からの「周りの人に『言うことがコロコロ変わる』と思われる。でも何度もシナリオを書き直しているから…。それを分かってほしい」という意見がありました。

わたしたち一人一人が「知ること、理解すること」で『失われたシナリオ』を書き直すお手伝い」ができるのかもしれません。今、みんなでその一歩を踏み出してみませんか。

■町内の特別支援教育や障害者福祉に関する機関

各機関で連携に努めています。どちらでも構いませんので、気軽に問い合わせ・相談してください。

①各保育園・幼稚園、小・中学校
巡回相談ほか各種支援・相談など

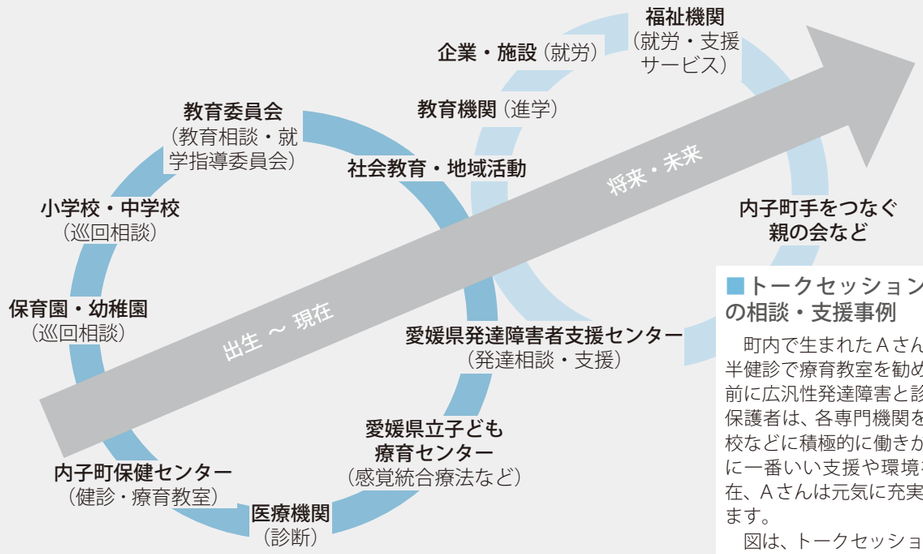
②内子町教育委員会 教育課学校教育班
☎0893(44)2114
教育相談、巡回相談ほか就学の相談、研修会の実施など

③住民福祉課保健福祉班
☎0893(44)2114
保育園での巡回相談や入園の相談、障害者の福祉サービス・就労相談など

④内子町小規模通所授産施設かいと
☎0893(59)2137
身体・知的・精神障害者が対象で、作業を通して心の安定や体力づくり、就労などを目的とした通所授産施設

⑤保健センター
☎0893(44)2111
乳幼児の健診や発達・療育相談など

※県内には宇和特別支援学校　☎0894(62)5135や愛媛県発達障害者支援センター　☎089(955)5532など、各種相談・支援機関があります。



■トークセッションで提示されたAさんの相談・支援事例

町内で生まれたAさんは、保健センターの1歳半健診で療育教室を勧められ、その後小学校入学前に広汎性発達障害と診断されました。Aさんの保護者は、各専門機関を活用したり、保育園、学校などに積極的に働きかけたりしながら、Aさんに一番いい支援や環境を模索し続けました。現在、Aさんは元気に充実した学校生活を送っています。

図は、トークセッションで提示された事例Aさんについて、成長段階でかかわった関係機関などを表しています。

❖インタビュー　障害のある子どもの親の会「内子町手をつなぐ親の会」の皆さんに聞きました

内子町手をつなぐ親の会

親は、子どもの障害を早く受け入れて、子どもにプラスになるような方向・方針を早く見つけてあげてください。そして、もっと子どもを外に出していきましょう。地元の人に知ってもらうことは、子どもの将来のためにもとても大切ですよ。

でもそうは言っても親はいっぱいいっぱいですよね。つらいことだってある。親が元気じゃないと子どもを外に出すパワーなんて出ません。わたしたちは、ここ「親の会」で元気をもらっています。健常児のお母さんの集まりでは、子どもを連れて行きにくかったり、子どもの話題を出しづらかったり、気を遣うこともありました。それは相手も同じ。気を遣わせてしまう。でもここでは何でも言えて、変なコンプレックスを持たなくていいんです。また、インターネットでの情報収集もいいけれど、やっぱり温かみのある「人」が一番。ここでは声を出して「笑える」。ほっとできる場所です。一度、一緒に「雑談」してみませんか。

それと内子町にも、障害者に関係するいろんな分野が一つになった部署があるといいですね。

◉内子町手をつなぐ親の会
［久保ひろみ会長・会員18人］
内子町を中心とした障害のある子どもの保護者の会。毎月1回集まり、情報交換や集会所の清掃などをしている。問い合わせは住民福祉課保健福祉班へ。

この特集に関するご意見・問い合わせは、内子町教育委員会 教育課 学校教育班　☎0893（44）2114まで。